



JAN 2010

フィレンツェから車で約 1 時間、プラトマーノ山の麓に広がる平野に中世の佇まいをそのままに残す、イル・ボッコ村があります。1985 年以前は手付かずの朽ち掛けていた村が、イタリアを代表する靴のブランド、サルヴァトーレ・フェラガモによって息を吹き返しました。オリーブの木とブドウ畑に囲まれたこの石畳の小さな村には小川が流れ、石橋がかかり、家具や靴、ガラスや陶器などの工房が並び、ワインやオリーブオイル作りが営まれる、中世のまま時が止まったかのような美しさを保っています。村とその周囲を合わせて 700 ヘクタール(東京ドーム 125 個分!)の広大な土地に、ヴィラ、ファームハウス、アパートメントなどタイプの異なる宿泊施設、ワイナリー、ハチミツ・オリーブオイルの生産所があります。

イル・ボッコは 1039 年から記述が残る歴史のある村。過去にはパッツィ家、メディチ家、サヴォイア家など名家に治められ、フェラガモ家の手に渡るまではアオスタのアメデオ公爵に所有されていました。当時ただの古い村だったイル・ボッコを現フェラガモのオーナー、フェルッチョ氏が大変気に入り、家族の休暇毎に過ごしてきた村を 1993 年念願かなって購入、以後少しずつ整備や修復を進めて、古き良き時代の美しい村に生まれ変わったのです。現在、息子のサルヴァトーレ氏が最高責任者として居住しています。

ヴィラやアパートメントなどの宿泊施設は古びた風情を残しながら、フェラガモデザインの内装、タオルやバスローブなどの備品はフェラガモオリジナルで、豪華で快適な滞在を提供しています。特にプライベート・ヴィラはハリウッドスターなどの世界のセレブに好まれている様です。またイル・ボッコ村の中枢を担うのはワイン事業。40h のワインに適した土壌で厳選された種類のブドウが栽培され、村の名前を冠した「Il Borro」を始め赤・白 4 種のワインが品質を最重視して生産されています。こだわり抜いたワインの生産工程は、フェラガモの世界に誇る靴作りの職人気質をそのまま受け継がれているかの様です。

イル・ボッコ村はフィレンツェ(約 1 時間)やアレッツォ(約 30 分)から車で気軽に訪れることのできる距離にあるので、村に滞在しなくても十分に散策を楽しむことができます。ワイナリー見学&試飲、センスの良い地元アーティストによる手工芸品のショッピング(フェラガモショップはありません)や工房見学などで過ごすイル・ボッコ村での 1 日をお客様にご提案されてはいかがでしょうか?

詳細はお気軽にお問い合わせください。

ボスコロツアーズ(ピーティージャパン)

TEL: 03-3472-1610

FAX: 03-3472-1617

eメール: tokyo.office@boscolo.com

ピーティージャパンURL: www.btjapan.co.jp

ボスコロホテルズURL www.boscolohotels.com